ライフ・スタイルの目線からのコーデイネートは、誰が？

障害児関係の福祉施策が多様、多岐になり、何がどう関係しているのか、さっぱり解らなくなってきた。そこで、あるメル友に、宮城県内の重症児に限定して、関係する実際の施策の仕組みについてアドバイスを求めたところ、以下のような情報をいただいた。しかし、各部署が子どものどの側面と具体的にどう係わろうとしているのか、まだよく解らない。

【地域福祉課・・・・・拓桃医療療育センター、重症心身障害児施設・国立病院重症児棟
保健福祉総務課－保健福祉事務所及び保健所
子ども家庭課－地域子どもセンター・・・・・重症心身障害児施設・国立病院重症児棟
障害福祉課－障害者更生相談所、拓桃医療療育センター
※　県立病院課－県立子ども病院
※　総合病院（市立病院、仙台医療センター病院、等）－総合診療科、小児科
重症心身障害児施設・国立病院重症児棟＝エコー療育園、西多賀病院、宮城病院
※　総合病院－ＩＣＵ病棟

在宅重症児関連施設としては、以下があります。
障害児（者）地域療育等支援事業施設　（地域コーディネーター）
市町村福祉担当窓口・・・・・支援費制度窓口
重症心身障害児通園事業施設
心身障害児（母子）通園施設
知的障害児通園施設
教育　教育庁　障害児教育室　養護学校
※　障害児学童保育 】

子どもは、その子固有の一人なのに、関係する仕組み、部署は、正に多種多様。更に、これらに親の思いが加わる。親の思いや関係部署毎に、その子どもがバラバラにされているのでないかとの危惧を抱く。

それぞれの親や部署は、それなりにその子どもに向き合っているのであろうが、その子どもの目線からの先々のライフ・スタイルから推測して、一体、どの行政仕組み（施策）を今どう活用するかを適切に親にアドバイスしたり、また、関係する機関や部署への紹介・連携等のコーデイネートは、誰が、またどの部署が担うのでしょうかね。それは地域コーディネーター？　現実には若い地域コーデイネターは、親の思惑や関係機関の枠の開き直りに日夜悩まされているよう。では、コーデイネターをコーデイネートするのは、誰？

どの部署？

そこが私には見えてきません。情報、アドバイスをください。

（2005 年 1 月 26 日　記）